

公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画の後期実施計画の見直し（H21. 1）

平成19年度までの取り組み状況を鑑み、「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画の後期実施計画」について、以下の通り、見直しをすることとします。

新	旧
<p>3. 後期実施計画の期間 計画期間は、平成17年度から平成21年度までの5か年とする。</p> <p>4. 後期実施計画の目標 後期実施計画では、コスト縮減における取組を着実かつ効果的に実施するため、新たに数値目標を設定する。数値目標は、計画期間の最終年度となる平成21年度のコスト縮減実績において、工事コストの低減、工事の時間的コストの低減、ライフサイクルコストの低減を対象に平成14年度標準工法と比較して総合コスト縮減率15%達成を目標とする。</p> <p>5. フォローアップ コスト縮減の着実な推進を図るため、後期実施計画の実施状況について毎年適切にフォローアップを行う。</p> <p>1) フォローアップ方法 ①フォローアップは、「奈良県公共工事コスト縮減連絡会議」において行う。 ②各施策ごと及び評価を行う。前年度の進捗状況やコスト縮減効果等についての確認及び評価を行う。 ③コスト縮減効果は、工事費に対する縮減率を基本に評価する。ただし、貨幣換算が困難な施策については、各施策の特性に応じた指標で把握する。 ④コスト縮減実績や代表事例等については公表を行う。</p> <p>2) 後期実施計画の見直し ①後期実施計画策定後も社会経済情勢の変動に的確に対処するため、引き続き新たな具体策の検討を進め、随時実施すべき策として位置付ける。 ②平成21年度までの取組について、毎年評価及び検証を行い、その結果を踏まえ後期実施計画の見直しを行う。</p>	<p>3. 後期実施計画の期間 計画期間は、平成17年度から平成20年度までの4か年とする。</p> <p>4. 後期実施計画の目標 後期実施計画では、コスト縮減における取組を着実かつ効果的に実施するため、新たに数値目標を設定する。数値目標は、計画期間の最終年度となる平成20年度のコスト縮減実績において、工事コストの低減、工事の時間的コストの低減、ライフサイクルコストの低減を対象に平成14年度標準工法と比較して総合コスト縮減率15%達成を目標とする。</p> <p>5. フォローアップ コスト縮減の着実な推進を図るため、後期実施計画の実施状況について毎年適切にフォローアップを行う。</p> <p>1) フォローアップ方法 ①フォローアップは、「奈良県公共工事コスト縮減連絡会議」において行う。 ②各施策ごと及び評価を行う。前年度の進捗状況やコスト縮減効果等についての確認及び評価を行う。 ③コスト縮減効果は、工事費に対する縮減率を基本に評価する。ただし、貨幣換算が困難な施策については、各施策の特性に応じた指標で把握する。 ④コスト縮減実績や代表事例等については公表を行う。</p> <p>2) 後期実施計画の見直し ①後期実施計画策定後も社会経済情勢の変動に的確に対処するため、引き続き新たな具体策の検討を進め、随時実施すべき策として位置付ける。 ②平成20年度までの取組について、毎年評価及び検証を行い、その結果を踏まえ後期実施計画の見直しを行う。</p>